

# 令和4年度 市民病院事務局長「政策宣言」中間報告

市民病院事務局長 中野 剛

## ○ 令和4年度重要事業

事業名	健全経営に向けた経営の強化
目標	地域の中核病院として、地域医療の確保と高度で質の高い医療を持続的に提供していくため、医師の確保、救急医療体制の充実、地域連携の強化により患者確保に取り組み、経営改善を図ることで健全な病院運営に努めます。
進捗状況	医師については内科医師が1名減少となりましたが、新型コロナウイルス感染症が拡大している中であっても、患者確保の取組により救急搬送件数や紹介患者数が前年度を上回るなど、患者数の確保が図られています。
今後の対応	引き続き、救急医療体制の充実や地域連携強化による患者確保に努めるとともに、医師別に目標設定した上で入院患者確保に努めて経営改善を図ってまいります。

事業名	新興感染症への対応
目標	ICD（インфекションコントロールドクター）や感染管理認定看護師の配置や拡充を図るとともに、検査や患者受入体制を強化するなど感染対策に取り組み、新型コロナウイルス感染症を始めとした新興感染症拡大防止に努めます。
進捗状況	5月10日に富山県から「新型コロナウイルス感染症重点医療機関」の指定を受け入院体制を強化しました。また、現在2名在籍している感染管理認定看護師の増員を図っています。
今後の対応	第8波の到来に備え、入院患者を受け入れるための即応病床の段階を拡充（富山県病床確保計画のフェーズ1から受入実施）するなど、感染拡大防止に努めます。

事業名	地域包括ケアの推進
目標	地域包括ケア病棟を活用し、医療機関や介護施設からの在宅療養患者等の積極的な受け入れや在宅復帰支援を行うことで、地域の基幹病院として医療・介護連携を推進するとともに、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境の構築に努めます。
進捗状況	地域包括ケア病棟への医療機関からの転院や介護施設からの直接入院など、患者の積極的な受け入れに取り組んでおり、毎月の受入患者数は目標数に対して概ね計画どおりに推移しています。
今後の対応	近隣医療機関や介護施設との連絡を密にして連携強化を図ることで、介護施設からの直接入院やレスパイト入院など、地域包括ケア病棟の活用を推進します。

事業名	専門外来の充実
目標	「鼠径ヘルニア日帰り手術センター」や「子どものこころの外来」などの専門外来の充実を図り、地域住民が必要としている幅広い医療の提供に努めます。
進捗状況	「鼠径ヘルニア日帰り手術センター」の開設により手術件数の増加に繋がっているほか、「子どものこころの外来」については、診療・検査ともに多くの患者に利用いただき、多くの予約が埋まっている状況です。
今後の対応	医療需要に応じた体制の見直しや改善を図り、専門外来の充実を図ってまいります。